

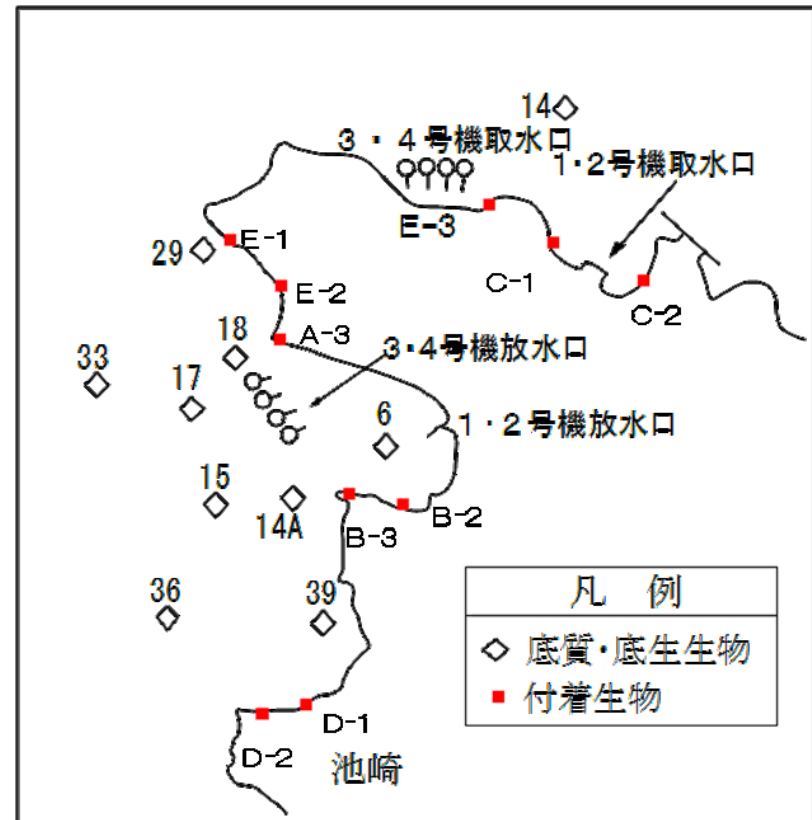
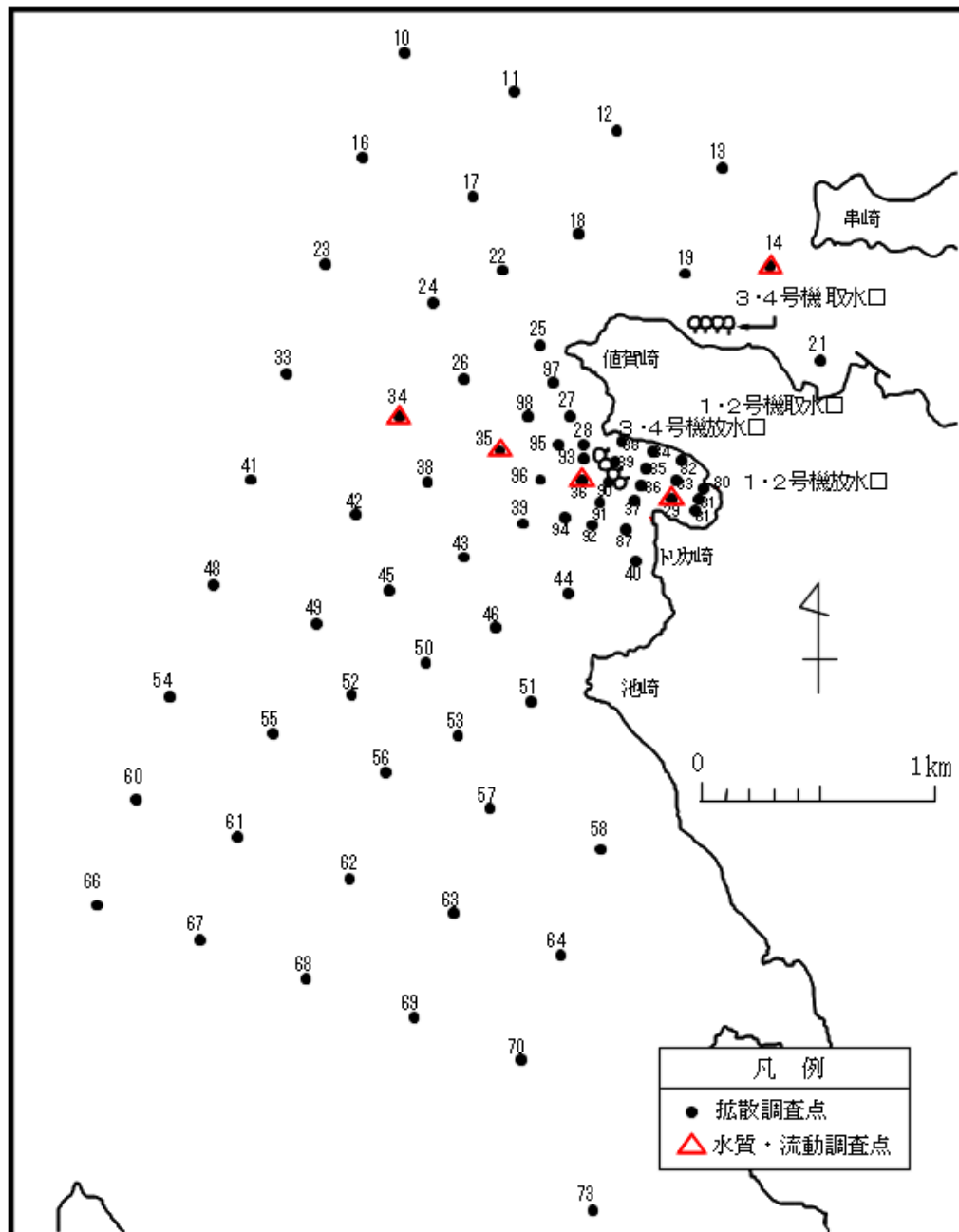
平成27年度温排水影響調査(夏季)結果

平成28年1月14日
玄海水産振興センター

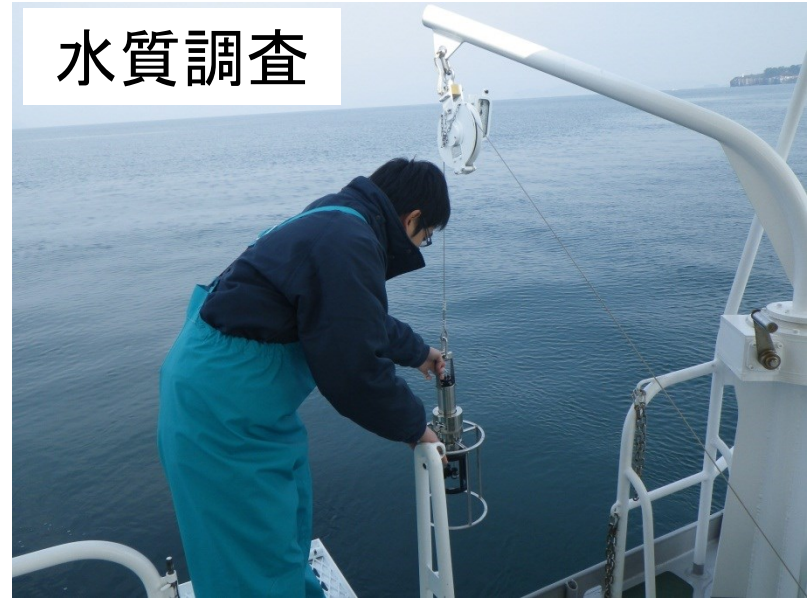
平成27年度調査実施状況

項目	調査月日	内容	調査 点数	観測層	調査方法および使用機器
拡散調査	7月 28日	水温 塩分	74	水温：0.3(表層), 1, 2, 3, 4, 5, 7, 10m 塩分：0.3(表層)m	<ul style="list-style-type: none"> 水温、塩分：電気水温塩分計による現場測定 (JFEアドバンテック社 ACT20-D型)
流動調査	7月 21日	流向 流速	5	0.3(表層), 5, 10, B-1(底層)m	<ul style="list-style-type: none"> 流向・流速計による現場測定 (JFEアドバンテック社 AEM213-D型)
水質調査	7月 23日	水温 pH DO 濁度 クロロフィル-a	5	0.3(表層), 5, 10, B-1(底層)m	<ul style="list-style-type: none"> 水温、DO、濁度：多項目水質計による現場測定 (JFEアドバンテック社 ASTD-102) pH：卓上測定器による測定 (TOA-DKK社 卓上pH計) クロロフィル-a：蛍光法
底質・底生 生物調査	7月 23日	粒度組成 COD ベントス	10	海底土	<ul style="list-style-type: none"> 粒度組成：ふるい分け法 COD：アルカリ性法 ベントス：マクロベントスについて定量・同定
付着生物 調査	8月 28日 29日	動物 植物	10	潮間帯	<ul style="list-style-type: none"> ベルトトランセクト法 岸側各点から海方向にメジャーを伸ばし、1.5 m毎に50 cm枠の中の種類、数量(被度)を調査

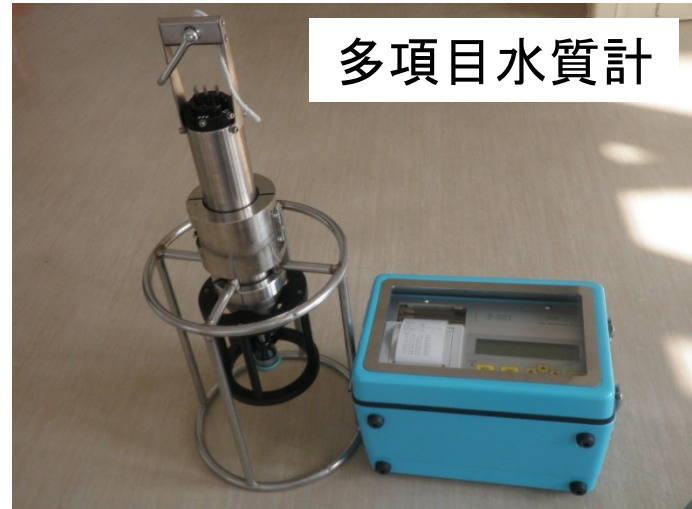
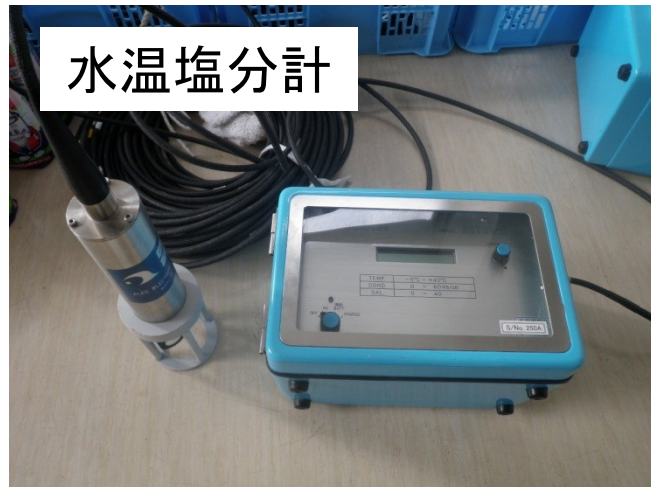
調査定点図



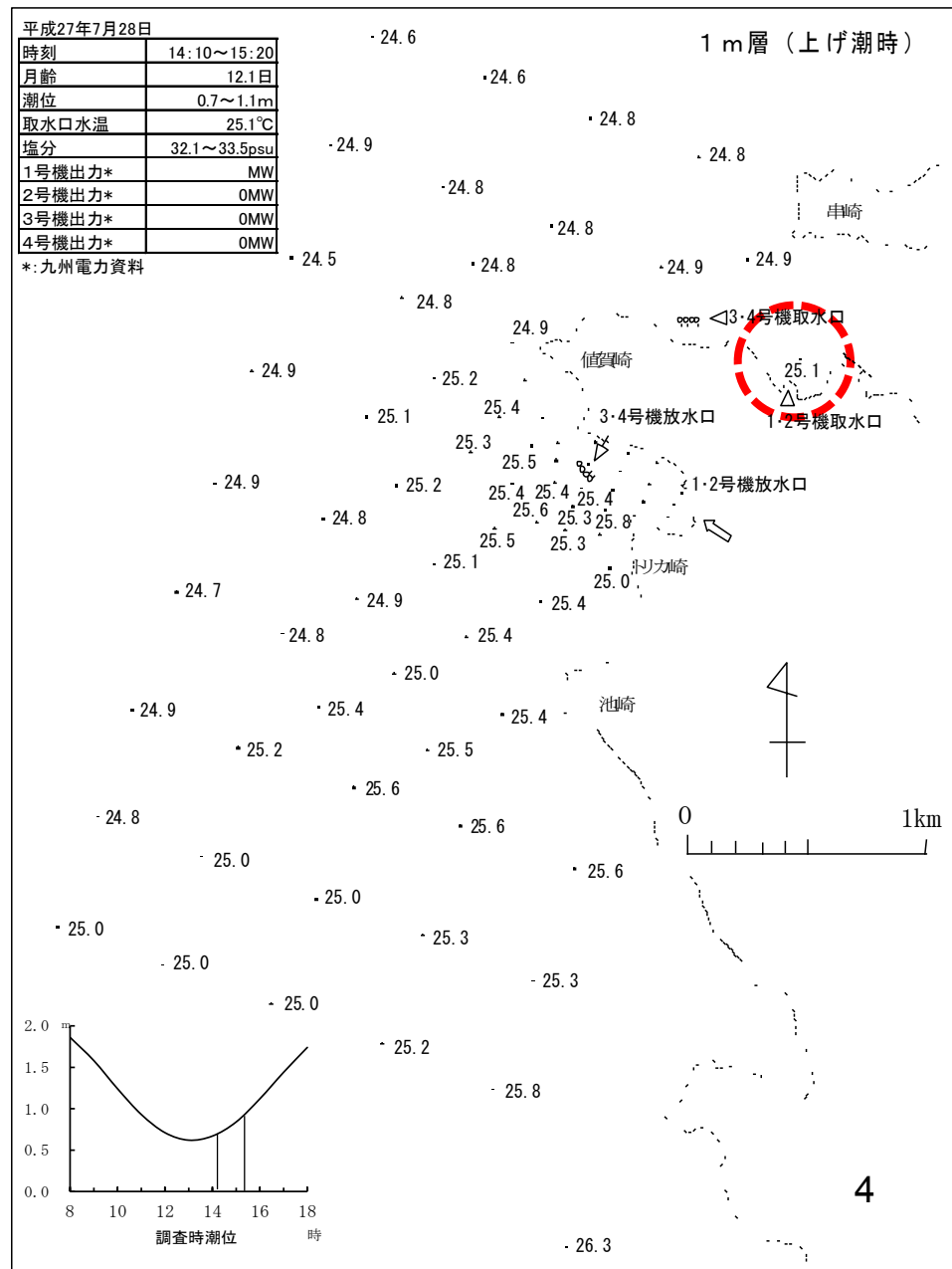
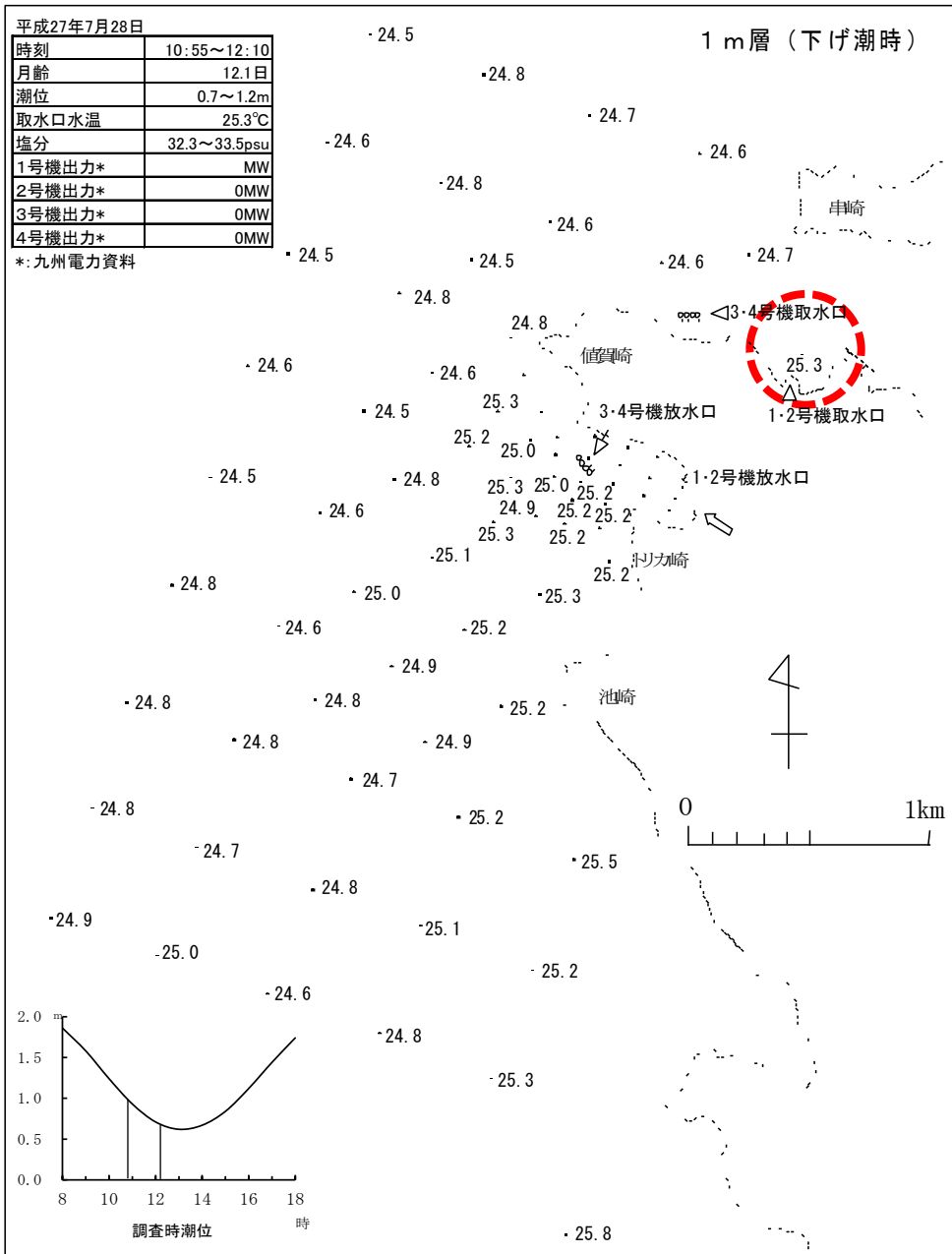
拡散調査・水質調査風景



調査機材



夏季拡散調査結果



水質調査項目の説明

水温: 海水の温度

pH : 水素イオン濃度指数。

7が中性であり、大きいとアルカリ性、小さいと酸性。

DO: 溶存酸素。

海水中に溶けている酸素の量。

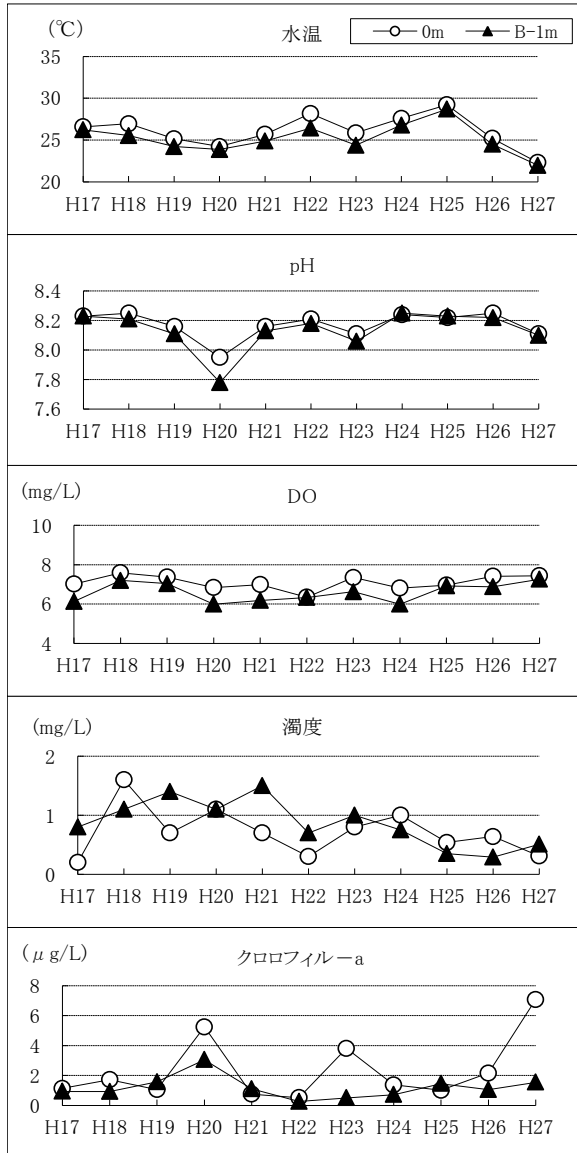
濁度: 海水中の濁りの度合い。

クロロフィルa量: 植物プランクトンの光合成色素の量。

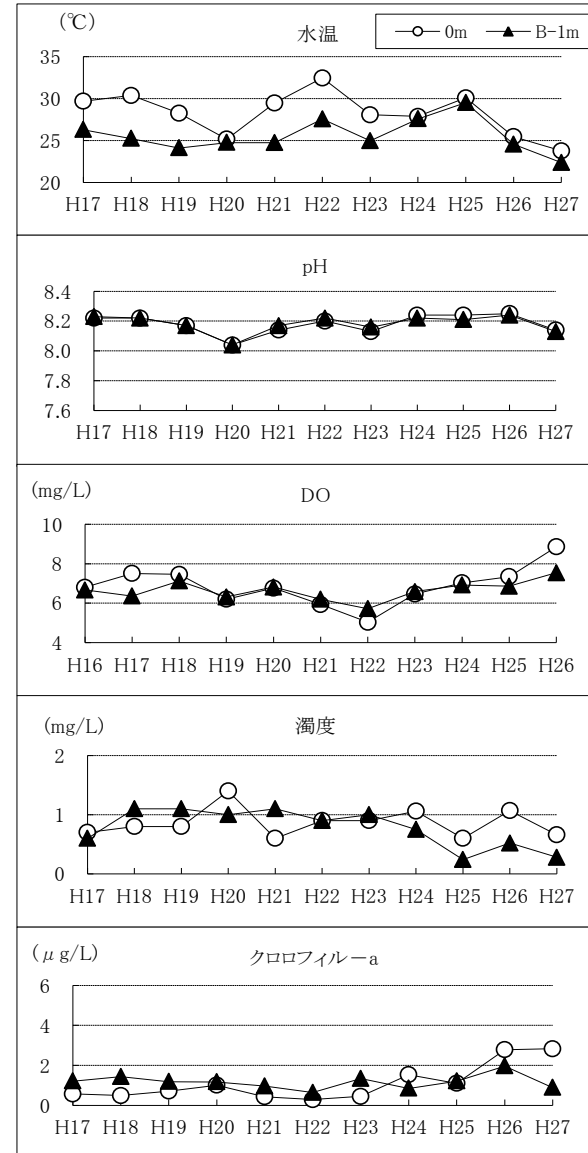
海のプランクトンの生物量や生産量の指標として扱われている。

夏季水質調査結果の推移

取水口側



放水口側



底質・底生生物調査

採泥器



1mm

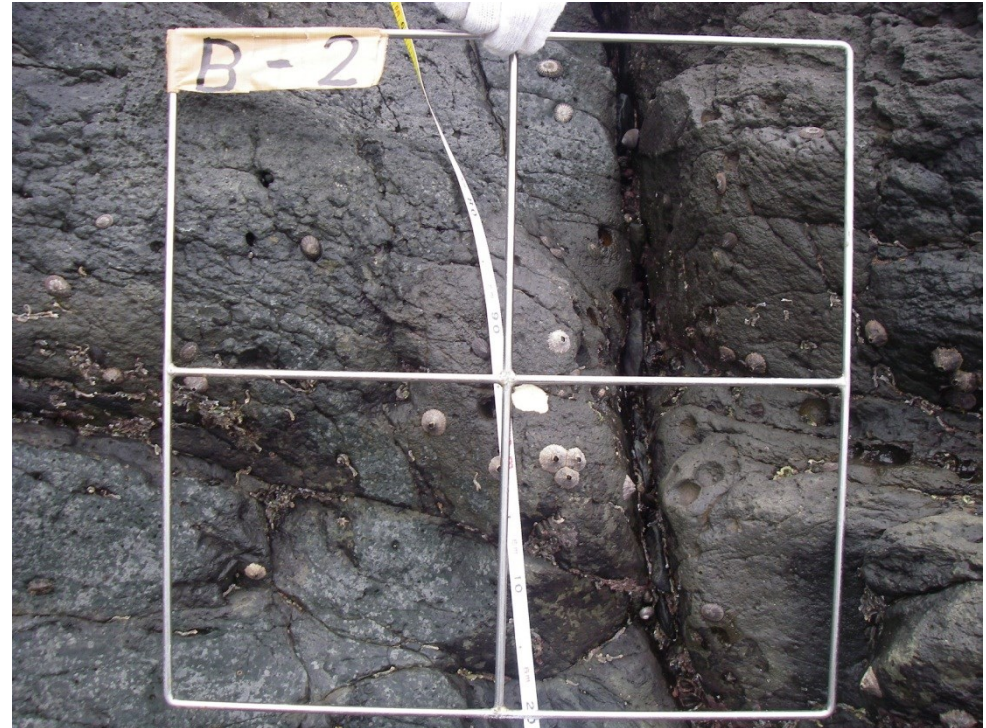
ベントス: 海底の砂や泥に生息する生物のこと

付着生物調査

調査ライン



調査点



出現生物例(動物)

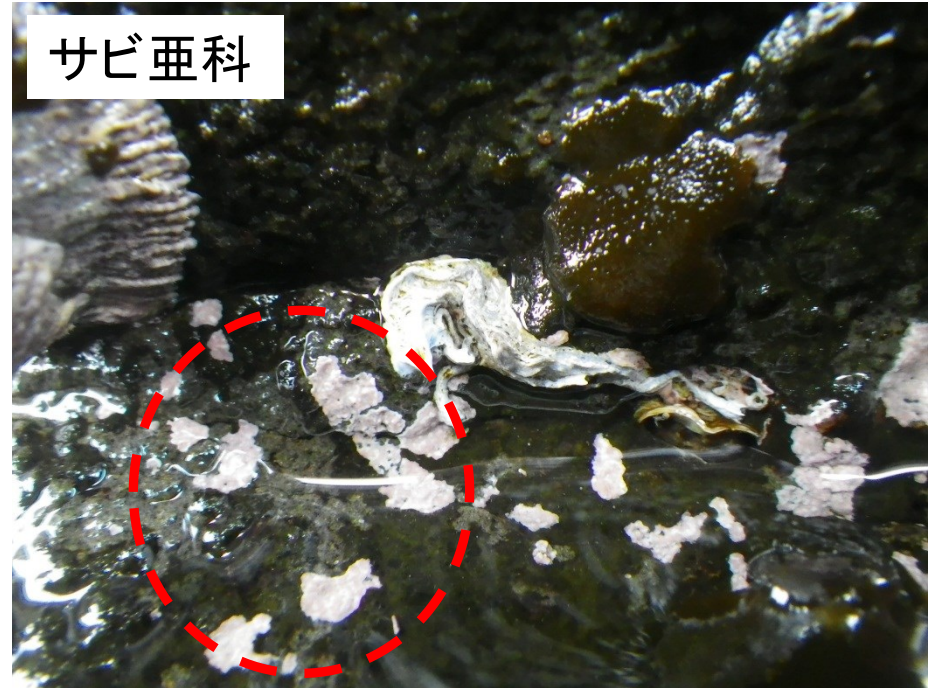


出現生物例(植物)

サンゴモ亜科



サビ亜科



平成27年度(夏季)温排水影響調査結果

拡散調査では、放水口周辺での水温の上昇はみられませんでした。

その他の各調査結果については、過去の変動の範囲内でした。